



本機を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。
本書は大切に保管してください。

安全に、正しくご使用になるための情報を記載しています。本書は、必要とさすすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本機をご使用になる前に、本書およびユーザズガイドを必ずお読みください(ユーザズガイドは添付のDVDに格納しています)。また、本文中の名称については、ユーザズガイドの「各部の名称と機能」を参照してください。

本製品の利用目的

本製品は、高性能コンピュータの平和利用に関する日本政府の指導対象となっています。ご使用になるときは、以下についてご注意願います。

1. 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により、適切にアクセス管理してください。
3. 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造等に関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター 電話番号：03-3455-5800

健康を損なわないためのアドバイス

このコラムでは、コンピュータ機器を使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。身体に負担がかからないよう掛けましょう。

- よい姿勢で作業をしましょう。
- ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。

● キーボードの角度を調節しましょう。

● ときどき軽い体操をするなど、気分転換をはかりましょう。

情報サービスについて

このコラムでは、Express5800 シリーズに関する情報サービスについてお知らせします。

- <http://www.nec.co.jp/>
製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。ぜひお立ち寄りください。
- <http://club.express.nec.co.jp>
弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をご案内しております。インターネットよりユーザー登録してください。
- <http://www.fielding.nec.co.jp>
NEC フィールディング(株)のホームページです。メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

また、Express5800 シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800 (代表)
受付時間 / 9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

箱を開けてから本機が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

ユーザズガイドについて

ユーザズガイドは「EXPRESSBUILDER」の中に格納されています。次の手順に従って参照してください。

- ① Windowsがインストールされているコンピュータの電源をONにします。
- ② 手順①でONにしたコンピュータへ、添付の「EXPRESSBUILDER」をセットします。自動的にメニューが現れます。
- ③ メニューから「説明書」をクリックします。

EXPRESSBUILDER

説明書

バージョン情報

統合インストール

各種アプリケーション

セットアップファイル作成

メンテナンス

終了

NEC

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品が揃っていることを確認してください。

- 本体×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- 保証書×1^{*1}
- スライドレール(インナーレール)×2
- SASケーブル×1^{*2}
- 安全にご利用いただくために×1
- 内蔵バックアップデバイス固定用ネジ×6
- EXPRESSBUILDER×1
- フロントベゼル×1
- セキュリティーキー×2^{*3}
- スライドレール(アウトアール)×2

重要

- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。
- セットモデルとBTO(工場組込み出荷)製品は、「組込み製品・添付品リスト」も併せてご確認ください。

^{*1} 梱包箱に貼り付けられています。
^{*2} 出荷時にRAIDコントローラーが組み込まれているときは内部に実装済みです。
^{*3} フロントベゼルに貼り付けられています。

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

内蔵オプションを取り付けます(オプションを購入していないときや、BTOで購入されたお客様はStep3へ進んでください)。

参照 「ユーザズガイド」の「内蔵オプションの取り付け」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

Step 3 ラックを適切な場所に設置し、本機を取り付ける

本機はEIA規格に適合した19型ラックに取り付けて使用します。ラックの設置は次の条件を守ってください。

「ユーザズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

参照

以下の環境条件を満たした場所

<動作時>

室内温度：10℃～35℃/10℃～40℃*

湿度：20％～80％

温度勾配：±10℃/時

気圧：749～1040hpa

<休止時>

室内温度：5℃～40℃*

湿度：10％～80％

温度勾配：±15℃/時

気圧：749～1040hpa

腐食性ガスの発生する環境で使用しない

前後1m以上、左右60cm以上、高さ40cm以上のスペースがとれる場所

複数のラックを設置するときは必ず連結させる

スタビライザを取り付ける

添付の電源コードが届く範囲にあるコンセントまたはUPS

AC100V、平行二極アース付きのコンセントまたはUPS

※ オプションにて200V対応可

水平でじょうぶな床の上

Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本機に接続します。

参照

「ユーザズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

参照

前面

USB機器

ディスプレイ装置^{*2}

16×2.5型ドライブモデル

前面

USB機器

26×2.5型ドライブモデル/3.5型ドライブモデル

最後に添付の電源コードをコンセントに接続する^{*1}。

シリアルインターフェースを持つ機器

ハブ/スイッチングハブなど

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T

USB機器

ディスプレイ装置^{*2}

背面

^{*1} 電源コードは、15A以下のサーキットブレーカーに接続してください。
^{*2} 前面と背面で排他。

Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

次の手順に従って、本機の電源をONにします。

- ① ディスプレイの電源をONにします。初期設定時は、ディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器は取り外しておきます。
- ② STATUSランプ1が緑色、STATUSランプ2がアンバー色に点灯しているときは、これらが消灯するまで待ちます。
- ③ フロントベゼルを取り外し、POWERスイッチを押します。ディスプレイに「NEC」ロゴが表示されます。



電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージまたはビープ音の鳴り方を保守サービス会社に連絡してください。

- ④ 購入時の状態に応じて、以下のいずれかの操作をします。
OSがプリインストールされている場合：
そのまま何も操作をせずに待ちます。しばらくするとOSが起動します。手順⑩へ進んでください。
OSがプリインストールされていない場合：
画面下に次のメッセージが表示されているとき、<F2>キーを押します(メッセージはハードウェア構成により変わることがあります)。

Press <F2> SETUP, <F3> Internal Flash Memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network

しばらくすると、BIOSセットアップユーティリティが起動します。手順⑤へ進んでください。

- ⑤ インストールしようとするOSに合わせ、BIOSの以下の設定を変更します。

	X2APIC ^{*1}	Boot Mode ^{*2}
Windows Server 2012 R2	Enabled	UEFI
Windows Server 2012	Enabled	UEFI
Windows Server 2008 R2	Disabled	Legacy
Windows Server 2008	Disabled	Legacy
Red Hat Enterprise Linux 6.5 (x86)	Disabled	Legacy
Red Hat Enterprise Linux 6.5 (x86_64)	Enabled	UEFI
VMware ESXi 5	Disabled	Legacy

*1 AdvancedメニューのProcessor Configurationを選択します。

*2 Bootメニューを選択します。

変更後、<F4>キーを押し、[Yes]を選択して設定を保存します。
ユーティリティが終了すると、自動的に再起動します。

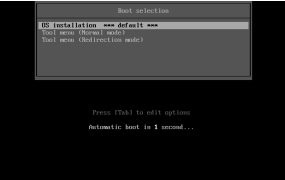
- ⑥ 画面下に次のメッセージが表示されているとき、<F3>キーを押します。

Press <F2> SETUP, <F3> Internal Flash Memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network



<F3>キーを押す代わりに、添付のEXPRESSBUILDER DVDを本機にセットしてもEXPRESSBUILDERを起動させることができます。

しばらくすると、EXPRESSBUILDERが起動します。



- ⑦ ブートメニューから、「OS installation」を選択します。

- ⑧ 言語選択のメニューから「日本語」を選択します。



- ⑨ ホームメニューの「セットアップ」を選択します。

- ⑩ 以降、インストレーションガイドに従って、OSのセットアップを進めます。
Windowsをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。
Linuxをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。



インストレーションガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストレーションガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。

Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。
必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。



「管理PC」は、一般的なクライアントコンピュータを使って構築できます(本機を管理PCとして兼用できます)。

名称	インストール先	概要	対応OS	
			Windows	Linux
ESMPRO/ServerAgent Service	本機	本機の状態を監視することができます	○	—
ESMPRO/ServerAgent	本機	本機の状態を監視することができます	—	○
ESMPRO/ServerAgent Extension	本機	本機をリモート管理できます	○	○
エクスプレス通報サービス	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○
エクスプレス通報サービス (HTTPS)	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます。	○	—
ExpressUpdate Agent	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます	○	○
Universal RAID Utility(URU)	本機	RAIDコントローラの管理、監視ができます	○	○
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます	○	○
Server Configuration Utility	本機	BMCを設定することができます	○	○
情報採取ツール actlog	本機	システムに異常が発生した際の原因切り分けを支援します	—	○
情報採取ツール kdump-reporter	本機	Linuxカーネルクラッシュダンプの一次解析レポートを自動生成します	—	○
ESMPRO/ServerManager	管理PC	ESMPRO/ServerAgentService などと連携し、本機を管理することができます	○	○
エクスプレス通報サービス(MG)	管理PC	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—

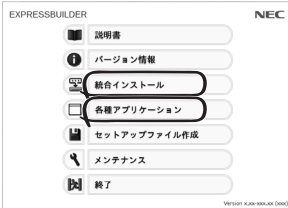
Windows版のバンドルソフトウェアは、オートランメニューを使ってインストールできます。



Linux版のバンドルソフトウェアは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。

次の手順に従ってください。

- ① インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。
「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。
- ② Administrator権限のあるユーザーアカウントでログインします。
- ③ EXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能が働き、次のようなメニューが起動します。



- ④ メニューの「統合インストール」または「各種アプリケーション」をクリックします。
- ⑤ インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。
- ⑥ 以降、「インストレーションガイド(Windows編)」などに従い、インストールを進めてください。

Step 7 お客様登録をする

弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をお勧めしております。次のWebサイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービスなどを受けることができます。

<http://club.express.nec.co.jp>



以上で、Express5800シリーズのセットアップは完了です。

トラブルが起きたときは

「メンテナンスガイド」には、トラブルシューティング、障害情報の採取方法、保守サービス会社の一覧などが記載されています。こちらを参照してトラブルを解決してください。
「メンテナンスガイド」は、「ユーザーズガイド」とともにEXPRESSBUILDERへ格納されています。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけまちがいが増えています。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hat, Red Hat Enterprise Linuxは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。